

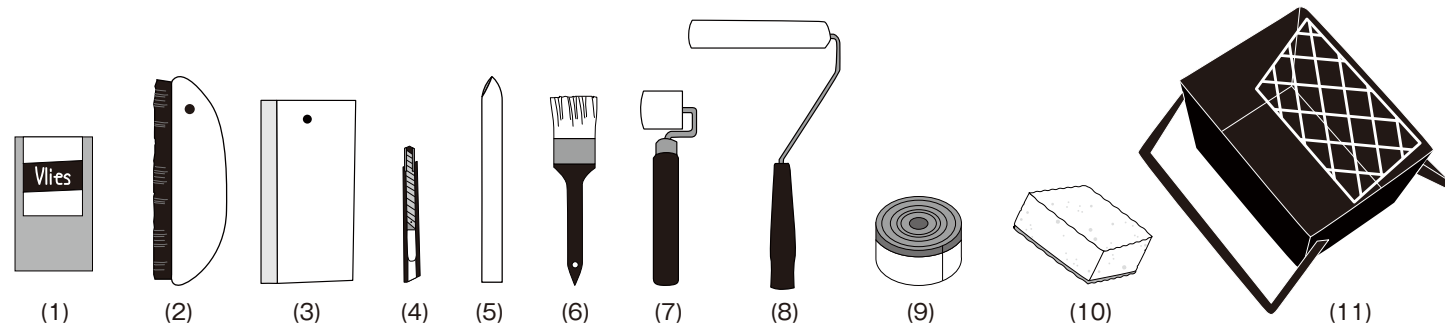
HOW TO USE

用意するもの

・フリース壁紙

・施工道具セット

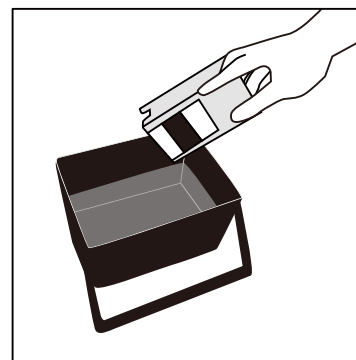
(1) フリース壁紙用粉末のり (2) 撫でブラシ (3) 地ベラ (4) カッター (5) 竹ベラ (6) ハケ
(7) ジョイントローラー (8) ローラー (9) マスカー (10) スポンジ (11) バケツ



<ご注意>

- 万一不良品や注文したものと違う商品が届けられた場合、お届け日を含めまして1週間以内にご連絡頂ければ、不具合の内容等確認の上、新品と交換させていただきます。施工中に不具合が見つかった場合は、ただちに施工を中止してご連絡ください。ご連絡を頂かないまま施工を続けられた場合、返品交換をお受けできかねますので、ご注意ください。また、商品以外の補償は致しかねます。
- この説明書は下地がビニールクロスであることを前提としております。砂壁や珪藻土、漆喰、塗り壁は対象外です。ビニールクロスであっても、フッ素コーティングされている場合や表面の凹凸が大きい場合など、表面の状態や種類によっては貼れない場合があります。貼る前に必ず壁の目立たないところで施工テストをされることをオススメします。
- 表面を強く擦ると、色移りする場合がありますのでご注意ください。生産ロットにより色の誤差がある場合がございます。過去に貼ったものは日焼けや色褪せが発生している場合もありますので、同じ柄でも購入時期の違うものをつないで貼るのは避けてください。
- フリース壁紙と専用のりを使用してビニールクロスの上に貼った場合、丁寧にめくれば綺麗に剥がすことができます。万一のりが残る場合は、水拭きをすると除去することができます。下地の状態によっては、はがした際に下地がはがれる場合があります。貼る前に必ず壁の目立たないところで施工テストをされることをオススメします。

貼り方



[1]

貼る面積に応じた量の粉のりと水を用意します。量は、粉のりの説明書をご覧ください。先にバケツに水を入れ、粉のりを少しずつ加えながら、ハケを使って混ぜていきます。



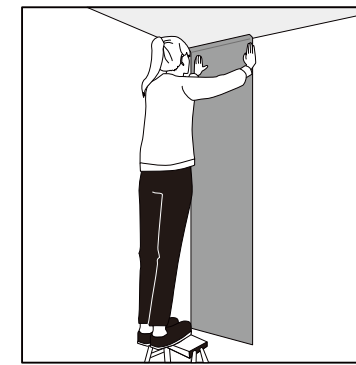
[2]

壁紙を貼る部分の床をマスカーで養生します。幅木にマスカーのテープを貼り、ビニールを伸ばします。



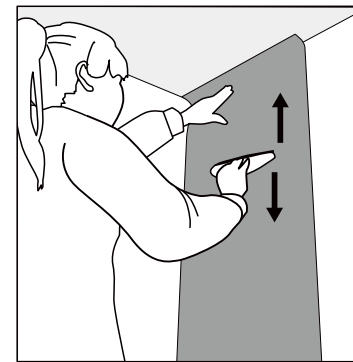
[3]

壁にのりを塗ります。壁紙1枚の幅よりも大きめに、たっぷり塗ります。角や端の部分はハケを使ってしっかりと塗りましょう。



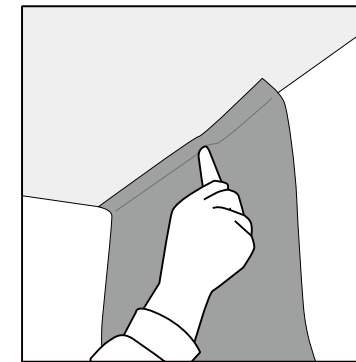
[4]

上部をはみ出させた状態で壁紙を静かに壁にあて、位置を合わせて軽く貼ります。



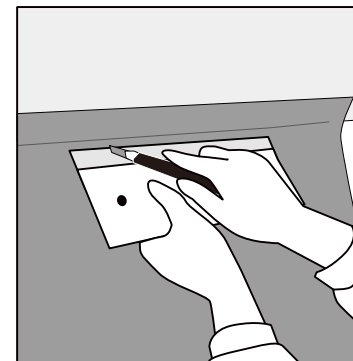
[5]

撫でブラシで空気を抜いていきます。壁紙の中心から上下方向に、撫でブラシ動かします。位置がずれても、のりが乾くまでは何度でも貼り直せます。



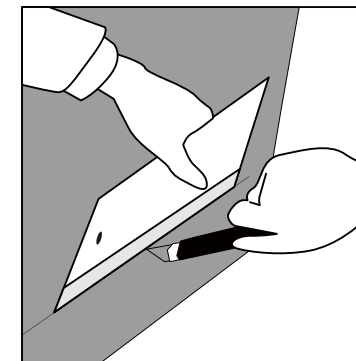
[6]

竹ベラを使って、カットしたい部分にしっかりと折り目をつけていきます。



[7]

地ベラを壁に押しあて、その上からカッターナイフで余分な壁紙をカットします。地ベラとカッターは最後までなるべく壁から離さないよう、横に滑らせるように動かしていきます。



[8]

下部分も同様に余分をカットしたら水をしぼったスポンジで、はみ出たのりを拭き取りましょう。



[9]

次に貼る部分にローラーでのりをたっぷり塗ります。1枚目に貼った壁紙の右端にも1cm程のりを塗っておきます。

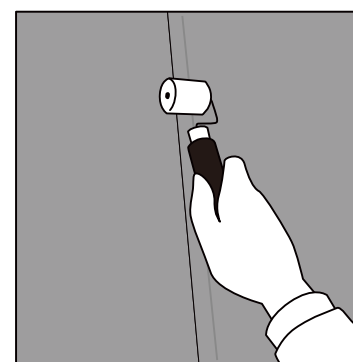
つなぎ目部分は隣の壁紙の端を少しめくって、ハケでしっかり塗っておきましょう。



[10]

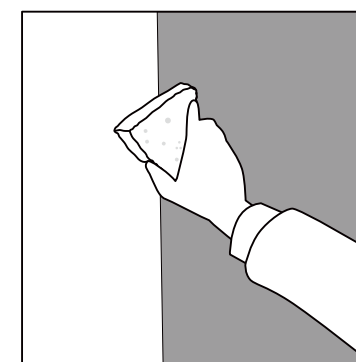
壁紙を、約1cm重ねて柄と柄を合わせながら貼り合わせます。のりが足りない部分は、ハケを使って足しましょう。

【5】～【9】と同様に撫でブラシで貼りつけ、上下の余分をカットします。



[11]

重ねの部分をジョイントローラーで圧着します。



[12]

【9】～【11】を繰り返して、すべての壁紙を貼っていきます。最後にのり残りをスポンジで綺麗に拭き取り、養生をはずしたら完成です。